

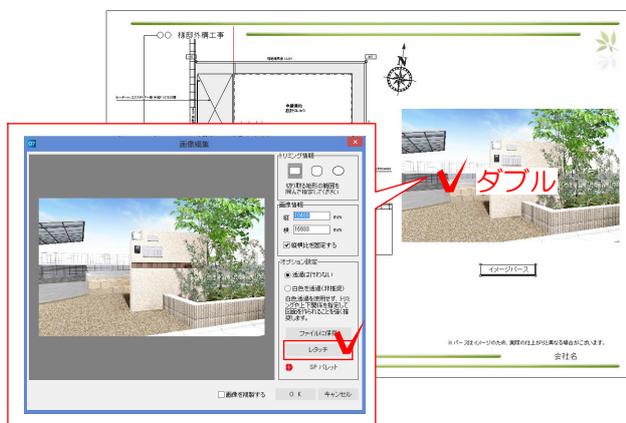
# レタッチ情報を保存・開く方法

リアルタイムパースのレタッチ情報を保存・開く方法です。



リアルタイムパースでレタッチをした時、レタッチ情報を保存しておくことができます。

レタッチ情報はCAD図面ファイル内、もしくは指定した場所に保存ができます。



## 1 レタッチ情報を保存

1-1：画像レイヤに配置した画像をダブルクリックし、レタッチをクリック。レタッチ作業を行います。

レタッチの画面が表示されます。

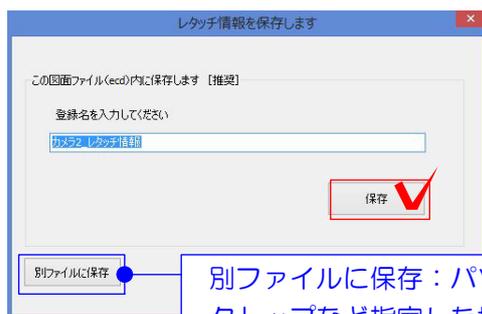


詳しくは  
参考 [レタッチ]を検索



1-2：パース画面を右クリックし、「レタッチ情報を保存する」をクリックします。

レタッチ情報保存の画面が表示されます。



1-3：名前を入力し「保存」をクリックします。

この図面ファイル内に保存されます。

別ファイルに保存：パソコンのデスクトップなど指定した場所に保存することができます。

## 2 レタッチ情報を開く

保存したレタッチ情報は、修正後などに利用出来ます。再度、同じ様にレタッチをする必要がなくなります。

1-1：画像レイヤに配置した画像をダブルクリックし、レタッチをクリック。

レタッチの画面が表示されます。

1-2：パース画面を右クリックし、「レタッチ情報を開く」をクリックします。

レタッチ情報選択の画面が表示されます。

1-3：保存したレタッチ情報を選択し「開く」をクリックします。

保存したレタッチが画面上に入ります。

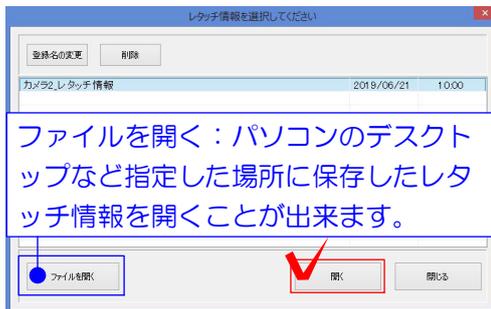
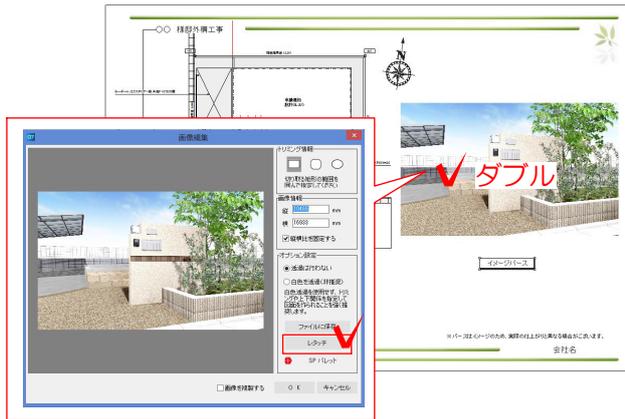
カメラの角度が変わった場合はレタッチがずれてしまいますので、再度レタッチをしましょう。

1-4：レタッチ画面の右下の「OK」をクリックします。

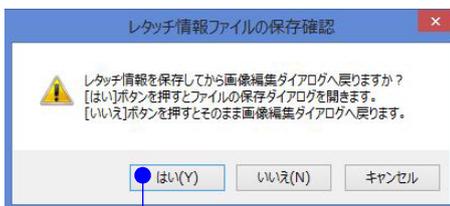
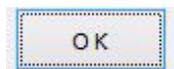
1-5：「レタッチ情報ファイルの保存確認」画面「はい」「いいえ」いずれかを選択します。

1-4：画面編集右下の「OK」をクリックします。

開いたレタッチ情報のパースが画面上に配置されます。



ファイルを開く：パソコンのデスクトップなど指定した場所に保存したレタッチ情報を開くことが出来ます。



再度レタッチをした場合は「はい」で保存をします。

